

リファンピシン 150mg カプセル

溶出性 〈6.10〉 本品 1 個をとり、試験液に水 900 mL を用い、パドル法（ただし、シンカーを用いる）により、毎分 75 回転で試験を行う。溶出試験開始 30 分後、溶出液 20 mL 以上をとり、孔径 $0.45\ \mu\text{m}$ 以下のメンブランフィルターでろ過する。初めのろ液 10 mL を除き、次のろ液 2 mL を正確に量り、水を加えて正確に 20 mL とし、試料溶液とする。別にリファンピシン標準品約 17 mg（力価）に対応する量を精密に量り、メタノール 5 mL に溶かし、水を加えて正確に 100 mL とする。この液 2 mL を正確に量り、水を加えて正確に 20 mL とし、標準溶液とする。試料溶液及び標準溶液につき、紫外可視吸光度測定法 〈2.24〉 により試験を行い、波長 334 nm における吸光度 A_T 及び A_S を測定する。

本品の 30 分間の溶出率が 80%以上のときは適合とする。

リファンピシン($\text{C}_{43}\text{H}_{58}\text{N}_4\text{O}_{12}$)の表示量に対する溶出率(%)

$$= W_s \times (A_T / A_S) \times (1 / C) \times 900$$

W_s : リファンピシン標準品の秤取量 [mg (力価)]

C : 1 カプセル中のリファンピシン($\text{C}_{43}\text{H}_{58}\text{N}_4\text{O}_{12}$)の表示量 [mg (力価)]

リファンピシン標準品 リファンピシン (日局).